

Your future is made by reading books 15号

2024年5月20日

5月に入り3学期になりました。この時期は雨期のシーズンでもありますが、今年
は早々に土砂降りの日が多くあるように感じます。土砂降りになると、トタン屋根に打
ち付ける雨の激しい音や雨漏りで授業が中断してしてしまうのがこれまでの雨期の光
景です。そんな光景が新学期とともに4-5年生が新校舎に移り、今学期に卒業となる
中学3年生が図書館2階に移り、トタン屋根が一部剥がれた旧校舎には6年生中学1-
2年生のみとなりました。この旧校舎から図書館が建設される様子を、子どもたちが明
るく雨漏りのしない図書館で本を読んでいる未来を思い描きながら見ていました。それ
から3年の月日が経ちました。その年どしに本の好きで自習時間や休み時間になると
図書館を利用する生徒もいれば、全く利用しない生徒もいます。好きな学園もの小説を
ノートに書き写す生徒もいました。首都から離れた小さな村では簡単に書籍に触れる事
は出来ません。そうした場所だからこそ小さくても図書館の存在価値があると思うので
す。しかしながら、自分の図書館に対する想いや本に対する想いが全生徒に伝わってい
ないのも現実としてあります。私は、休み時間や授業に入らない時間を使い書架の整理
整頓をしています。シロアリに喰われた書架の棚からは木粉が毎日のように大量に出て
棚に納められている本を木粉で汚すのです。それを取り払い棚の木粉もきれいに掃除し
本の表紙を手前に向けて入れ直す。時間を気にせずやると1時間があっという間に
過ぎてしまいます。図書館を利用する生徒一人一人が心がけて書架内にあるブラシを使
い掃除し、また本の整理整頓を行えば、私のこの作業もとても楽になることでしょう。
誰か一人でも、この書架がきれいに整理整頓されている時と乱雑に押し込まれている時
の違いに気づいてくれれば。言葉で何度も何度も指導して整理整頓の仕方を写真にし
て説明しても分からないのだろう。いやわかって欲しい。期待と諦めが交差する中、
作業していると図書館に現れたのが本が大好きな中学3年生のヨンだったのです。一
瞬唖然とした彼女はすぐさま本を手に取り木粉を叩き落としながら整理し始めたので
す。直ぐ上の2階からは生徒の笑い声が聞こえて聞ける中、残り少ない中学生活の中
で彼女が本を読むことで知らない事を知り、様々な事を吸収してもらいたいと願わずに
はられませんでした。

※ショート動画2本有り



図書館建設サポーター 一般社団法人ギブアウェイ様

プロジェクトサポーター フェリシモ基金事務局様 矢東タイヤ様

KAWASHO FOODS (GULF) FZE 様